令官記者團

ど初會見語

では、本日 皇帝陛下行くのだ、本日 皇帝陛下行くのだ、本日 皇帝陛下行くのだ、本日 皇帝陛下 年の今日 皇帝陛下 年の今日 皇帝が日本を訪問を受ける ままにするために之を一般 ない この日を更に一層 本る、この日を更に一層 本る、この日を更に一層 本の今後登 本

郎氏(大安興業)

眼を向けた。 で玉むり」

關東局總

(東京國通) 関東軍司令官よったが、六日午前七時四十八 り参謀本部附に韓じた南大將 は四日以來熟海に靜臺中であ

一門より参内した、之と前後し 三毛、土肥原四中將並に藤田 三毛、土肥原四中將並に藤田

上、陛下より伊

帰温なる勅語を

▲李文炳氏(鐵路總局長) 本字佐美電湖氏(鐵路總局長)

(鐵嶺醫祭樂長)

* み 皇后陛下に拜謁仰付けら * 別謁、一同は更に桐間に進 * の 皇后陛下に拜謁仰付けら

當分武部部長が代理

等常は以上の關心と利害の同地域に對して有する
展開係を有する國として
表別の開邦として

香 関東局總長大野線一郎氏も政 ・ に同總務應文長大達茂雄氏 ・ の身格を見ることとなつたが ・ の身格を見ることとなったが ・ での身格を見ることとなったが ・ での身格を見ることとなったが

将星其他官民多數の 認大 左歌 時十分東京驛着廣田首相、寺 門陸相、謝滿洲獨大使、陸軍

の上南大將に拜陽仰付き相、字佐美侍從武官長に想長宮殿下を始め率り去

大將に舞鍋仰付け

議院法改革と政黨

信用回復

トソン溶洲販賣會社)同來

▲島居好一氏(軍人)同内にルビンへ

川重紀氏(石炭商)同八

▲全日本學生卓球聯盟鮮滿遠 ※天へ ※選買縣師範學校生三十二名 同二時漸京、同十一時融ハ ルビンへ ・ 新京中學北支観察旅行團大 日午後二時霽京

▲桑原科英氏 (滿鐵) 同羅津

門に亘つて電の

が として起りし によ

元县氏(滿電)同野保氏(製藥業)同門登氏(電業)同門登氏(電業)同職素氏(羅紗商)同職素氏(羅紗商)同職素氏(羅紗商)同

春服のお仕度は一春服のお仕度は一

天上の世界を親るやうな氣持 自分さは全くかけはなれた。 自分さは全くかけはなれた。 一点に踊り廻つた。

一宮は登々憤慨していつたありませんか!

内の設備は完全・

かり速は、活動編

さ、玉汝のゐるすぐ向ふの觀でゐた。

て、玉汝はそれをほんやりさ

置こんな奴は無護士なんかに

行動に出づる决意を表明し

ると共にか

るソ

聯の暴擧に對

獨自

の立場から自

である 大事には異動は行はない方針 である

慶と締結し東洋赤化の積極的意圖を露骨に表 したるに對し、東洋和平保持の見地から

の立場か

ら自

友 月

日六

五五五 統統 競銭級調 ペラヤ 板 吉川商會 雷二九一三街 **林甲板**

▲川端源之進氏(水先案内)
●川端源之進氏(水先案内)
●加々良乙比古氏(同)同
●加々良乙比古氏(同)同
●加々良乙比古氏(同)同

乳

あ

3

3

0

新

形

ジア

0

*

淮上秋)

▲太田正夫氏(陸軍通誕生) 内所長)同 時所長)同

五十

◆泉哲氏(磷鐵囑託)同來京 名古屋ホテル名古屋ホテル

理事)同理事)同

れつ、上になり下になって、 ・ 大切を野獣でを背さ腹でに、 をやうな奇理感でを背さ腹でに見る。 を持っな奇理感であった。 ・ 格闘してある一方が一宮で ・ 格闘してある一方が一宮で ・ おった。

餌 日 記念日 國皇帝御追憶

れ、東京្
原頭
カ六日 裕州図 植田軍を御訪問御會談遊ばさる

的 益々深まりつゝある、満洲 の 和揚手を交へさせられてこ なったが、その第一回の記 遠に記念するため御訪日記 遠に記念するため御訪日記 に亘り軍司令官と御會釋遊御訪問遊ばされ、約一時間 には植田軍司令官

蒙相互條約調印

滿洲國政府決意表明

ソ聯の暴擧に對

着、正午植田軍司令官と共受け させら れ官邸 に御到でけ させら れ官邸 に御到



戒嚴残置部除 衛戍地歸還

和會大長ら日で

官民多數の見

貴族院と需接な連絡を

▲河野正一氏(協和會)同鐵

洞三氏 (陸軍少佐) 同

て暮さうごしてゐる兄――。 その兄の心中を考へるご、玉 汝は兄が神の如く尊く思はれ た。この兄に仕へて自分は一 生涯獨身で暮さう!

さが場の酸の上に馬乗りになって、境の酸を地へたに押し

して二人を献した。
とない、「人はないとない。」とない、こ人を献した。

送裡に赴任の途についた

の振動のため特別調査會を設 る特別議會に於て政府は護會 の振動のため特別調査會を設

西教育總監

療部に入院 軍醫學校診

すべしとする意味の電大建議会に議員法改正法案を提出

| 微天氏(滿洲自動車運

背後の部屋の中では、ダンあた。

玉汝は、夜空を仰ぎながら た宿命であった。 ななななない。 た宿かであった。

たさころであった。

ご小突いてゐ

したんです、喧嘩なん

四日午後四時歌

將は四日大連出帆のあめりかつた陸軍化學研究所長久村中でない。

後四時發列車で板垣参談長、 脚東軍司令部第二時長から世 脚東軍司令部第二時長から世 後約三週間を抑育總監部級表ー

後一時陸軍々艦學校診療部に

性過し略々順調・西大將は競奏 せられてゐる政章案は講院法 ある、なほ衆議院各派で考慮 政府

主任辻一氏を

輪環氏(端鐵審查役)同

滿鐵初等教育部

地方部學務課初等教育部主任地方部學務課初等教育問題につき當局と事務が過地の滿洲國移讓に伴 ること」なり同氏は近日著任辻一氏を大使館に常駐せしめ ▲ 八島修氏 (軍人) 同公主債 (ルルビンへ) 同公主債 (九大教授) 同 (ルビンへ) のルビンへ (カルビンへ) 同公主債 (カルビンへ) に対して (カルビンへ) に対して (カルビンへ) に対して (カルビン・) に対

▲石井正己氏(同)同遼陽へ ▲和田嚢雄氏(陸軍大佐)同 率天へ ▲恒松正躬氏(陸軍大佐)同

来た。 電灯のついた部屋を眺めた。 三人の女に四人の男――女 三人の女に四人の男――女 れ、レコードの電気が響いて一個のダンスホールが振った

『え」、でも、此奴偽に降物。 をグイグイ引つ張りあがるん です!僕アこんな〜ンな野郎 ご踊りなんか真ツヸだ!』 『ほいは、ほ……』 『だつて、喧嘩なんかしちやうにいつた。 さ一宮が憤慨して、苦しさ

最

店

談を乞ふ 強健にして經験あるお方本人直接御來年齢十七八歳より二十四五歳まで身體

定話3六一七七番へ 御希望の方は 御希望の方は

「配確實ご生活安定

有りたし(但)市内に保證人を要す 右希望のお方は本人直接御來談數名至急採用す給料は面談の上

金城靴店

靴と鞄の店 千代田の 各種取揃 へました

意を吹きながら、組んづほぐ フタフタさ事歌のやうに荒い フタフタさ事歌のやうに荒い

玉汝は驚いてかけつけ

かけつけた、

機械並煖房に經驗ある者

工務所 (3) 四人五六番

年齢十七八才位迄身惶翳健市内に確實なる保證人を要刀 劍 研 師 見習 ニー 名

吳服店員募集

新京百貨店吳服部

落ちついた

撞

球

感じの

明

3

3 V

▲三日間粗品進 設備完全 呈

水道の故障は

チャ 岩 工 新京和泉町二丁目廿二

那こそ大類先出の家の居候ち はしてやつたら、此以、何、 だきアがるんですよ、この野 たきアがるんですよ、この野

◇御披會露 ◇御

(2)上、一体語

國澤

0

雀選手權

安價に頒布 用肥料

保補生百七十九名と共に八日 一年前八時着列車で來京、駐滿 一年前八時着列車で來京、駐滿 一十分發列車で哈爾濱に赴く豫 一年後四時發列車で離京の兼定 であるが輩士官以上及び候 一年後四時發列車で離京の兼定 である因に司令官一行の氏名

めた紙片が附いて居り餘りの めた紙片が附いて居り餘りの めた紙片が附いて居り餘りの めた紙片が附いて居り餘りの がにぼろ (の満人衣服に で胸に「四月四日死す」と観は れる男子の死體二個が全身裸 で胸に「四月四日死す」と観は

長春寺间犬狂犬に咬まれたと 国出でたものが六日正午まで に左の五名あつた 本階町四丁目二番地白石泰子 さん(八)▲同番地中澤保 十七番地金井洋服店方興歌 十七番地金井洋服店方興歌 大優(三九)▲東二條通り六 番地の二金農園(二九)本 番地の二金農園(二九)本

棄されてゐたのである、周

に國都花街の近くに男た、それもその筈所も

狂犬五名

を咬む

練習艦隊乘組

員

下クラブ酸素)

○以坂

練習艦撒司令官吉田善吾中將

工官以上四十四名、

人雲乘

市政生れて三周年

盛んな記念

功勞者表彰、市民申合發表

來る上

日に舉

一行

販賣店に於て販

のつゝ通り過ぎ

人は腸結核の症

に接した新京署から署員が現

(B)

學

米社の回選手権大會終る

新京補織地方事務所では市民の庭園を5るほすため草花、の庭園を5るほすため草花、石あるが更に草花用の肥料もで、肥料は草花用として特に製造した埋肥で値段は麻袋の野歌は一大変に乗った。 に製造した埋肥で値段は麻袋

學校四年生一行八十五名は六北支地方修學旅行中の新京中

し北滅方面をも具単の豫定

滞在國都の見學やな

P

スカンツ

y

は

Ŧ

·五分十三秒

位藤井氏、十二位島村氏、九位美須氏、八位植田氏、九位美名氏、十位坂田氏、九位美名氏、十位坂田氏、七位高

七十三百七千四第

伯視察總結果發表

あすラ式蹴球

中銀グランド

十分試合の火蓋は切つで

桐生中學勝つ

中等選拔野球

0

は好適

事色を探つた い観察を最後と い現察を最後と

滋来の早大ラグビー軍を迎へ 時から中銀グランドで花々し より先満洲関軍政部軍樂駅の はり先満洲関軍政部軍樂駅の 臓に観察として入場、ついで により日満関策の損傷、會長 により日満関策の損傷、會長 により日満関策の損傷、會長 により日満関策の損傷、會長 により日満関策の損傷、會長 により日満関策の損傷、 により日満関策の損傷、 により日満関策の損傷。 により日満関策の損傷、 により日満関策の損傷、 により日満関策の損傷、 により日満関策の損傷、 により日満関策の損傷、 により日満関策の損傷。 により日満して日本と により日満関策の損傷。 により日満関策の損傷。 により日満関策の損傷。 により日満関策の損傷。 により日満関策の損傷。 により日満関策の損傷。 により日満関策の損傷。 により日満関策の により日満関策の により日満関策の により日満関策の により日満関策の により日満関策の により日満関策の により日満関策の により日満関策の により日本 により日本

ルコード・買出す ・ 対してあるが、今度建園器操 ・ 対してあるが、今度建園器操 ・ 対国側背難眼では建園器操

原5季 十六分2

十五分十三

5 A-4

月月日日 天町ののの 日 入出入出報€

茶五時 十二分 茶六時四十九分 茶六時四十九分

迎春に相應しい催しとして全 横の催人より期待された本社 後援新京稼働同業組合主催第 二国オール海洲麻雀選手權大 會は三日午後一時から公會堂 本ールで奉行された、全浦から集る選手のうちにはらら若 い女性や浦人、朝鮮人の参加 もあり會場はさながら五族協 中後一時制調の維國を心に福 を選手堂々入場、指定の卓 を選手堂々入場、指定の卓 が、近期 を記述した、全浦か を選手堂々入場、指定の卓 を記述した、全浦か を選手堂々入場、指定の卓 を記述した。 を消した。 を消した。

IJ

午後五時半ごろ一條橋詰梅ケ

人は腸結核の症狀も認められれも極度の營養不良で女の一なも極度の營養不良で女の一ないのが発し、

病死 せる千供たちを とれた捨てたものと見られて ある

男女兒遺棄死

つれも貧困滿人の仕業

日曜日午後のグ

條橋々畔

(=)

に回 韶訓民書を御煥發遊ば を整れ「朕日本天暴陛下ト職心 不可分陽係强化のため御躬ら 施を整れ給はつた不可分關係 例にあり御往路怒濤甲板に碎 りな九州南方の沖合では左の 知き御製に托されて日滿兩國 知き御製に托されて日滿兩國 林田臀部官は一年前の御床し 最近の皇帝陛下の御日常につ いて誠んで語る た御感銘の程は御歸國後直陛下が御訪日によつて得ら 御日常につ

の外と拜祭される三笠山に行 された陛下には敷日前来側近 者を召され春宵を當時の御憶 出に過される日も多く殊に日 本皇室に御歌待、熟誠心から なる関民の歌迎については敷 の外と拜祭される三笠山に行

物語の数々の品々は今も、前日の際朝野よりの御歌

時間五十分州二秒(世界が がブン一時間五十分州二秒(世界がが)一着相良(麻布幔育クラン)が三分を出ない接受して

と「人の誠実に通す」の御窓 一と「人の誠天に通す」の御窓 一次に 存むられる御製を御詠み 楽に 存むられる御製を御詠み 楽に 存むられる である、 又 櫻の で見た 日本の 櫻の美は今も忘れがたいものである。 と何せられて 百聞一見に如か と何せられて 百聞一見に如か と何せられて 1 日本の 1 日本

御附きの者が棒持して常に御 職し激ばされず當時の御追憶 に限りなき御なつかしみを感 ぜられて居られるかの如く拜

水で接つて御歓迎上げた際陸 火で接つて御歓迎上げた際陸

此行意僅寬山木 兩國の類響にそ東洋の平和建 設に不可缺のものである意味 設に不可缺のものである意味 を御示し鑑ばされた御信念の を御示し鑑ばされた御信念の

あつたと演れ承る、又同じくの際も此の際も此の 何處の蜜にも

父兄教師に出迎へられて歸京日午後二時新京着列車で多数

後六時から

留別宴を催す

長岡前國務院總務應長は五日

付從來同樣御引立被下度併而玆ニ舊來ノ御高誼ヲ奉鳴謝候有セシ權利義務並ニ業務ノ一切ヲ繼承致シ四月一日ヨリ營業ヲ開始任り候ニニヨリ組織ヲ株式會社ニ改メ無限製材株式會社ナル商號ノ下ニ從來同公司ノ拜啓陳者弊公司儀多年御愛顧ノ餘惠ヲ以ツテ無事營業致シ來リ候處今般都合

先ハ右不取敢御挨拶迄如斯御座候

B

6 - 3

愛

知商業勝つ 對平安戰

對滿洲國卓球

新社名 舊社名

無限製材株式會社新京出張所鴨綠江製材無限公司新京出張所

が軍對補洲國第一層ので學生軍對全新な

仕候間此段謹告仕候弊社は昭和十一年四月一

日より左記の如く商號を變更可

+

一年四月一日

洲

電

株

式

社

商

號變更公告

田

土海二土成海宮 村野回村田野田 〇 殿〇 〇

丁二可戴

疊

0

は

三條通

六〇

噬 迅 用

速 命

(3)

第三人所書

大連都市交通株式會社

桐

○ 南 第三回動
○ 南 第三回動
○ 南 第三回動
○ 市本 3 - 1 - 1 土村
結局學聯側は今、川村、田村
・ 大が六對二でこれ亦學
・ 大が六野上でこれ亦學
・ 大が六野上でこれ亦學

屋

質

讓

御用のお方は(吉野町二丁目北満旅館前)除、建物二階建(延六十坪)除、建物二階建(延六十坪) 昭和七年新築 平家三十餘坪昭和九年新築 昭和七年新築

萩原代書所 電(3)四〇四〇(吉野町二丁目北滿旅館前)

番へ

御

挨

店

學理的 常治療術 ※ 治療療法 の神正指壓療法 の神・心強健療法 (みかさや内)

多田地方課長

皇法電療所

四日各方面を招き披露したり「令女パレス」と改稱、昨 令女 レス開店

新京中學四年生

總裁令息來京

ら還る

東京浦洲國交通部動務松岡浦 郎君は六日午前七時帝列車で 郎君は六日午前七時帝列車で

今晩の主なる演画放送 あ す(七日)

本七・○○三曲・青柳』〈東京〉本七・平○映画館「僕の東京地七・平○映画館「僕の東京地七・平○映画館「僕の東京地一瀬里子本七・三五落語「お」が、「東京)帝風事柳橋本

産婦人科 性病科 和 雜 貨 i 赤 木

竹田 静子 内 雕 千代 石 井 昌子 (產資減遺應需) ● 日本橋通九-(朝日通角) 電話(3)5689番 各 西

位

會葬御禮 松浦 朗





ので遠征に多くの時間を要するのが主要な缺點である事を考へれば考して終別、南米、ニュージーを設定を持ている。 したが出來ると思ふではない他の缺點は容易に解消するとが出來ると思ふ、爾後は認めた事によって終別ではない。 を認察せしめた事によって終回たと思ふ、爾後は總が出來ると思ふ、爾後は認めた事によって終記を持つが、東京招致委員會の仕事はないをと思ふ、爾後は總がである。

意地事社會係まで申込まれた 意順に配布する、希望者は至 意順に配布する、希望者は至 鹽飽、相良兩選手 ラ

「東京関通」日本陸上競移聯盟主催オリムビック男女候補盟主催オリムビック男女候補盟主催オリムビック男女候補別主催オリムビック男女候補のクを受ける。 1 日本陸上競移聯

おける。 一着 が 大二年振りで世界記録を更新 大二年振りで世界記録を更新 大二年振りで世界記録を更新 大十四秒を見事に破り質に四 一着 が歴 へ回閲青年)一

世界記錄を更新

鏡である。横の形は一般に関い、横線配員一側五

新京機會聯盟庭球部のコート に大力に於て開催される が出場テームはオール新京十 一組、溝州國側十二組和合二 十四組の豫定で試合は紅白試 一本年度の入場料は定期券(一 本年度の入場料は定期券(一 本年度の入場料は定期券(一

1

來る十九日 ト開き ムへ謝辭を述べ歌談一時間餘線理長週氏在任中の功績をた

野鶴一氏は七日午後二時あじ蒙政部翁牛特左翼旗参事官坂 あで新京課競社任す 坂野參事官赴任

長に松田氏城内職合會

開催左の通り役員が決定した ▲會長松田彌三郎 ▲列會長 代田幹三▲同中村七之助▲ 幹事長井下郁也▲幹事尾崎 幹事長井下郁也▲幹事尾崎 不、都用又男 ら天経路端州國小學校に於て 會創立總會は五日午後二時か新京特別市町内會の聯合町内

對全滿選拔ラ式

で父宗親儀事送ノ節ハー方ナラヌ御芳 一文宗親儀事送ノ節ハー方ナラヌ御芳 がラ紙上ヲ以テ御藤申上グベキノ處略儀ナ リ上親シク御藤申上グベキノ處略儀ナ リ上親シク御藤申上グベキノ處略儀ナ リ上親シク御藤申上グベキノ處略儀ナ リ上親シク御藤申上グベキノ處略儀ナ リ上親シク御藤申上グベキノの がラ紙上ヲ以テ御挟拶ニ代へ候 がラ紙上ヲ以テ御挟拶ニ代へ候 がラ紙上ヲ以テ御挨拶ニ代へ候 四月六日

不 にて目下純東京の美給多数を迎へてに酬ゆる爲近日他所へ開業致す積り周年を迎へ營業擴張と日頃の御厚恩助誠に有難く存じます本年は創業五期業以來皆樣より格別の御愛顧を蒙開業以來皆樣より格別の御愛顧を蒙 居りますから開業の節は何卒倍舊 御引立を賜度く御願申上げま

五. 京

す

0

店主外女給一同

2 = = =

度 七日よりの 番組は左 ターナーの「生活と煙 と中心に极竹二番線を配 三本立組成である、これ よ・秋田の横籠拳闘型及

さを夢

版華豪晶結の心苦督監郎太戰井白

三五十間錢

女の洪水最近の邦忠

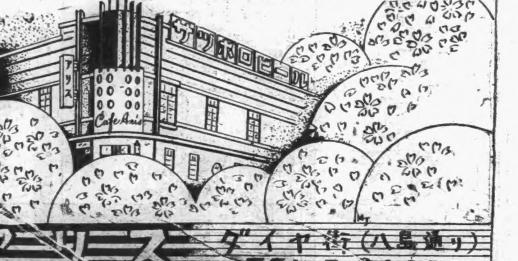
作件杉若 • 色脚作原











大改築竣成 愈々本日開店 事情應答

官製はがきにて本証経済部府 間に願ず、簡別になるべく封轄又は 満洲、新京諸紋の經済事情に就き質

大なものであらう、補儀清州

[間] 水豆問題といふのが喧しいやうですが、概略の説しいやうですが、概略の説明を願ひます(一學生) 財を願ひます(一學生) 大調査を競奏しれましたが、本紙に優表されましたが、本紙に優表されましたが、

三、油房としては出油敷が少い上に豆粕にすれば水分が多く乾燥すれば製質鉄庁し

化 房でもこれ以上は餘程價格を 下げの限り敷迎せない。かく 小 して結局夥しい水豆の滞貨が 下呼解と見被れば其の三分の 一が水豆、水豆の三分の二が 少 北海藍と見るのが大型の典模を三 が で減洲國の調査によれば北海 か で減洲國の調査によれば北海 か で減洲國の調査によれば北海 が で減洲國の調査によれば北海 は十一月初旬より水豆の増貨が は十一月初旬より水豆の増度が は十一月初旬より水豆の は十一月初旬より水豆が増し で矢張り五〇%の不合格晶を

欧ーダイナニン・メゲッはそこ宵今六

四、職出者としては輸送上の があり等々一、二等大豆の があり等々一、二等大豆の

三%が印

が要ならしめた如き事は誠に を要として當局の積極的對策を あるが、昨今の如く全議的異 あるが、昨今の如く全議的異 を が、明今の如く全議的異 では

撫順露天掘併合

本年度より着手

油母頁岩工業も増産計

畫

の如し の如し の如し の如し のないでは、代表を上京せし

職入しつゝあり、鐵鍋の需 織をソヴイエト、英印より 職入し又高率關稅の下に銃 報をリヴイエト、英印より 大國製鐵界は綱材生産額の

國策積極化に

新京に 1-3

計他山

BRA-BEN BEN-DI

420-44K

11。元元。元六年

ものは漸減の傾向あるに反し ・ ではなく轉送をも含む が故に此のパーセンテージを ・ が故に此のパーセンテージを ・ が故に此のパーセンテージを ・ 一 のみではなく轉送をも含む ・ 一 の の か ではなく轉送をも含む

ら見れば左表の如くである

(單位質)

00000-

九四一九九八〇

直ちに異なりと も見られるとは 被て然らば新 何なる種類の鮮 稍費されるか、

元人〇四人一 分分分分分元 三五〇一五仙

子菓子瓶、

體化學用硝

売瓶、其他 標本瓶、投

工物

新

京鐵道北 話(3)六

東二道灣

九

昭明器具、

の幣好を數字の上 が、即ち頻京人の が、即ち頻京人の

なとは言へ大勢を知なりとは爲し難いと

は大連、營口及安東又朝鮮で 大連、營口及安東又朝鮮で 三、發送地別鮮魚の 東年増加を辿れる入荷鮮魚の 鮮魚の需給情况 一新京商工會議所調查 は釜山、元山及純鷺の三地からの入荷最も多く昭和九、十ちの入荷最も多く昭和九、十

者の第三表を検討するに全入 荷数量に對する地方別出荷数 期其濟羅越新濟京平浦仁麗木三群馬統元签 群 州老 千 五三九・六九人 スーセ・カーハ・九元 **两** 洲 公式% 六式%

ル五年

本本本 | 一本本 | 一本 |

式をある。 初 二日封切 書 線原上んさうたがり有間

左官材料販賣

嵌

者





え越道赤

容

次忠まで

美



日曜午後休診 時間外診察に 時間外診察に 午午後前 花皮外內 療院 XX 時時マョ 病 科科科科

間 果政府並に關係官廳に對し陳 「大阪図涌」 鐵網國策確立並に銑 を開催。 鐵網國策確立並に銑 を開催。 鐵網國策確立並に銑 鐵鍋國策確立と

鮮銀券愈撤退 渉ナ

本新屯社宅敷地開工事 落札工賞二千二百八十圓 三、1八、100 神 田 田 中 和 三、1八、100 神 田 和 三、100 神 田 和 三 100 神 田 田 和 王 100 神 田 田 和 田 100 神 田 100 神

本字、朝陽鏡間知託便銅線新 京札 三八 三 佐賀 電氣 本事事の 1、2000 日本 2000 (四月六日前場)

吹かねど空は春曇り」

CR** 型 10元 43

限限限制 開発 100 で 1 100 S 新京キネマ

大月限 171918 17190 元月限 171918

テイチワレコー 日より

の亂狂」

第一回

市 向 一志一 六分九 一志一 六分九

巴 (曲尺) uu 深 vb 4 25 1237 42 72 史ッカック 中值 1

b



〇裡 -25

20 電話。三八〇五

秀な技 術寫

トルーオ 篇激感 辞海 接後 御省軍 恵ニキー 下 運 萬三程 航 八 ト 曲 漁 旗 口 造 虎 澤 廣 十 版 主 于 関 井 花 ・ 銭 版 本 日 王 栄 屋 の 界 世 演 キ ン ピ ア リ ヤシ テ・







御客 本財 (本) 本し是れ誠に盛大の記念日なり此 なし是れ誠に盛大の記念日なり此 なし是れ誠に盛大の記念日なり此 なし是れ誠に盛大の記念日なり此 なしとれ誠に盛大の記念日なり此 なしとれ誠に盛大の記念日なり出 (本) 本 (本) 本

東京御着の活動寫眞を御覧

びかります。びかります。はかますのは節に當り値出軍司ではかりまり左の如き説がますの官より左の如き説すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すに着ります。すいます。はいまする。はいまする。<

御光陰を彫ぶす、之本官の対に奮り恭しく皇帝陛下の対に奮り恭しく皇帝陛下の

陛下と御會見遊けされ精惑 本日は正に東京に於て天青 惟ふに鳳駕離航旣に一年

愛の盛儀を催させ給ひ 下を超越し真に肉身的至情至を超越し真に肉身的至情至を超越し真に肉身的至情至を組成的機構

下至體量記

数喜指く能はさるところな

優渥なる御答勅

の祝辭に

(-)

敬んて貴國天皇陛下 第なる嗣を致さる殿

相田司令官官邸に於ける御訪 日満一ヶ年記質會に御親臨の 清州國皇帝陛下には午後一時 中分より澄宮殿下(三笠宮殿 中分より澄宮殿下(三笠宮殿

年宮中参入の御摸線がまざま 心の活動宮質を御覧遊ばされ たが、御助日の御寓館には昨

東京國通)この程常任せ 使許世英氏は六日午前九時 使許世英氏は六日午前九時 学事官以下十三名の館員を 從へ宮内省整廻しの儀装馬 事にて蘇布飯倉町の大使館 を出て二重橋正門より参内

信任狀捧呈 駐日大使參內

陛下にはと ては就

ノ四ケ國政府代表會職は英國側の主張に從つて十三人委員會の職事らジュネーヴで開かれる事となつたが、フランダン佛外相の主張に伊エ紛爭處理問題を続つて戲々最後的に聯盟の態度を決定すべき十

オピア皇帝の奉ゐる近衛軍を守によりの報道に依ればアシーの報道に依ればアシー取りの報道に依ればアシーの報道に依ればアシーの表に終てエチーの表に表して、

八日から並行して開催せん

工軍の根據地クオラムを占領

要破したイタリー部隊は五日 撃破したイタリー部隊は五日

的に行

挑發的論說

満側の憤激を買つてゐる。即左の如き挑發的論説を揚げR

1 即日往

委員會ピ

口

四國會議

表る三日綏寿河に於て不法越 境ツ聯機が満洲國領を撮影せ 市處が直ちにソ聯領事に抗議 したことは旣報通りであるが 更に外交部北満特派員施設本 氏は本事件を重大親する外交 部の指令を受け五日駐哈ツ聯 ・一、大之に對しス總領事は調査 した之に對しス總領事は調査 を共に將來の保障方を要求 した之に對しス總領事は調査

【頂ニ十刊夕朝紙本】



昨日滿人記者團ご會見

軍司

令官

る第七回珈亭會

聯機越境撮影事件 施特派員嚴重抗議 要するので當分出動は出來な 場后陛下に非謁仰付けられ御 場后陛下に非謁仰付けられ御 機嫌を率伺、更に溺淺內府、 機嫌を率伺、更に溺淺內府、 機嫌を率何、更に溺淺內府、 らせられ種々有難き御

ス總領事調査回答を約す だて日本軍部を誹謗するもので之に對し親善樹立を希望するもので之に對し親善樹立を希望するもののる不誠意な言辭又は思潮を

話せるは外歌の宗主國支那 として歌過し得ざる所営然 として歌過し得ざる所営然 として野過し得ざる所営然 として野過し得ざる所営然 の一つとなるであらう、併 の一つとなるであらう、併 の一つのはソ聯の民主の重要交渉 ではなく强いて ソ聯側が今回ソ豪協定は新事賞を 大きである スチュアと解 ではなく強いて スチュアと解

退職積立金法案

東部方間曲天、洪洲地方の共 藤軍主力部をは東部に向つて 移動を開始し既にその先鋒便 衣除は河北省南部、河南省北 での北省東部に向って

特別議會に

蓑田軍醫の遺骸

支那はソ豪條約を認めず

軍司令官師團長會議

愈々本日召集

同宮中に参内軍狀

へを受けて一先づ停車場司令 部に安置され、同十時三十分 でた、尚同列車には同事件で る譽の負傷をした吉田中尉も

車で閾們着、兼兵除士の出迎校に護られ三日午後五時半列

公會堂に於て全滿日本商韻臨 に動する最後的態度を決定す に動する最後的態度を決定す

親を進言する筈である なし近く満洲國常局に對し要 期に関する希望に就ても協議

公學校教諭異助

牲者故養川軍艦の遺骨は田路(間門國通)長嶺子事件の穢

加へず、寧ろ健觀の狀態であて獨く概略左の如き論評をな

采介

の誤りにつき瞳んで訂正致し心一體」とあるは「精神一體」下御日常を語る」記事中の「誠

一面「皇帝

中の一誠を可能を

日振りで参内した 町の管邸にて驒峯中であつた が六日午前十時事件以來四十 鈴木侍從長全快 **今朝參內**

特從長は負傷の機帶も殆んど を正し多少疑れの模様で乾門 から参入、宮中に於て天皇陛 下に非謁仰付けられ靜囊中の

は宮中に於て御陪食を仰付られそれぞれ管下の軍状を委問し、天皇陛下に拜謁仰付出を利下間に率答、正午に対している。

事になってゐる

れる信である、而して入日の 情談は陸軍省第一會議僚に於 の徹底的振動と、軍隊の秩序 維持につき軍大訓示が行はれ り載き午后には陸相官邸で陸 中心に今文事件を契機に 事軍團結して皇運の扶實に逃

白根前翰長の候補者よ 方針で目下各方面

が政府は六名程を特別議會副長の記念により缺員九名となつた

「東京國通」國民生活の安定 関連に就任と共に諸般の調査を整備 には職工總數の約三個を占む を開始したが懸案の退職 には職工總數の約三個を占む には職工總數の約三個を占む を開始したが懸案の退職 には職工總數の約三個を占む を開始したが極端を開始と占む を開始したが懸案の退職 には職工總數の約三個を占む を開始したが懸案の退職 には職工總數の約三個を占む を開始したが必要は非常に を関始を出るが、内務 には更に桿頭一歩を を関始して右法案の の際の のの際の ののの。

松室少將

新京公學校教諭植祭金枝氏は 満職本社學務課へ轉任、後任 として撫順公學校から藤井信 近教諭萧任、六日兩氏同伴更 任挨拶に來社した、因に植祭 氏は七日酸パはとパで赴任する

一に勞働時間十時間を限度と し特殊の事情あるものは時間 延長する事が出來るが一週間 の總勞働制限時間を超過する 事が出來以事となるもので一 選獎時間にするかは今後の研

均等權恢復

夕子は歌い中全学社 物道職通新は歳々五月一日よ 記録、國線及北東鐵路との貨 開稅、通關に開し

部員一同を招待惜別宴を張つ時から八千代で國政記者俱樂時から八千代で國政記者俱樂

を蒙つた首都アデス・アベバ四日午前イタリー軍職関機五四日午前イタリー軍職関機五四日年前イタリー軍職関機五

【天津六日登園通】信ずべ **桜遠、河北を窺ふ**

▲八木沼淳雄氏(鐵路局員) 同大連(金尾崎喜馬太氏(會社員)同

往來

金整

融理

日滿互讓社

小原前法相外原前法相

許大使夫妻のため午餐會を

新京支部設置

起兩嚴下御臨席、有田外相儲させられ梨本元帥宮、同

一林へ(木材商)同 原良介氏〈實業協會理事〉

空 往

> 東京電燈 附電氣工作 是是

集募生學 宿 學 費 費 ニケ月卒業 食 祝町二ノ五 (銀ペレス前)

電師の二九三一番問題明治自動車練習所知用書進呈入學は隨意

型へ向つた 型へ向つた 型へ向つた

長岡前廳長

記者團と惜別

六日內地

●資金の御融通も致しますから値かのアタマ

を全さへあればお買入れが出来ます 電話(3)六二六七番 電話(3)六二六七番 に対して居ります

入岭町一,九〇

かの如く見られてゐたが、州 性は 一 にあるもの 2 如くである、 一

全滿會議所總會

府に於て制定を急いでゐるが滿洲國商工會議所法は目下政

1金 理ク及具

機がイラー

東一条通

祝(上) 破天荒の誕生

編快である、面白い男だとさい。本質では不景無である。本質天津市長いた着相様の変になる。本質天津市長いた着相様の変になり、他常習性のインテリ層が高でした。ならない、他が一つ最低で何には特殊分を調かして居つた成都で智慧の無い間には特殊分を調かして居つた。 し切つた故都で智慧の無い間には特殊分を調かして表した。 しならぬ、他が一つ景氣で心湿したお祭気がを調かしてあらから、他常習性のインテリ層が高でした。 しかくグッイ 云ったからから、他常習性のインテリ層が高でした。 しかくグッイ 云ったから知れ

和合の信用事業に第一步を案 利出したものであつた。だが 満洲長村經濟復興のためには また恐慌克服の根本的對策樹 立のためには、現在の金融合 作社のみを以てしては足りないであららっ近時 糧積の股止 いであららっ近時 糧積の股止 れてゐる。 満洲の最村が持つ

天津市長の無振エイが二週間 根前其北平の邸宅で今年六十 伝統を迎へた襲親の爲めに大 極めて大仕掛けで喰りに実晴 しかつたので平津の社會に一 しかつたので平津の社會に一 しがつたので平津の社會に一

御馳走に呼ばれた御客が約× 物に來たものが計四萬七千× 手取早く質質的に云はら。四

百家族四百名の自作農業移民 (東京國通) 拓務省では木年 (東京國通) 拓務省では木年 たパラグアイ

まこも男ひ膨脹し從つてこれら をなして來たものであるが今 をなして來たものであるが今 をなして來たものであるが今 をなして來たものであるが今

関に増員し之が監督の萬全を期する外現下軍需工業が監 いても充分内務省、社會局其いても充分内務省、社會局其がは関係官應と協力し調査の步を進める方針であると

汽車賃割引き

(=)

社

說

專

ったがこの期間は来る六日より十三日迄の八日間である、 り十三日迄の八日間である、 此の電報は通常電報料金の三 のであるが主なる規定として は左記の様なものである

出る日本

軍需工業に

不當增配抑制

軍當局で嚴重に監督せ

期間は大機開花の頃より十 一大以上は元割額となってあるが各地の 一大以上は元割額となってあるが各地の 一大以上は元割額となってあるが各地の 一大以上は元割額となってあるが各地の 鐵道の特別

一、復活祭祝賀電報の本文は であることであることであることである。 である。 であるの祝賀文のみを包有 と して」なる課金指定を附す ることであることであることである。 と ることである。 と ることである。 を 、復活祭祝賀電報では返信 料前排、郵便局書留、電報 局留選以外の幹殊取扱を爲 言ぬこと

悩み を送る事に決し、之が整衡の ため拓勝局の青木事務官他二 山形、顧島、新潟、長野、山 梨の各縣に派遣する事となつ た

居宰會社 創立を見た 十日總會 社の定期總 前十日午前十前から新京ヤ 無名戰士の

▲ 上海爲特 第1回費 — ○三、人七五 第1回費 — ○三、人七五 一 ○三、人七五 一 ○三、人七五

第一回費 二九弗一六分豆

▲大連爲替

盗まれる 等であるが此の電報が來着した時には一般歐文電報に使用する透纖低に受信し復活祭就質電報(EASTER GRAM)と朱書して通常私報の後に受信者に配達されるものであるがその他は一般國際電であるがその他は一般國際電

フレーションの

0

六、1000 向

朝鮮武德會 0

【京城支局競】日本一を誇る 、 (京城支局競】日本一を誇る 、 (京城支局競】日本一を誇る 、 (京城支局競】日本一を誇る 、 (京城支局競】日本一を誇る 、 (本) (京城支局競】日本一を誇る 、 (本) (京城支局競】日本一を誇る 、 (本) (京城支局競】日本一を誇る 、 (本) (京城支局競】日本一を誇る 造りに土地柄最新式の暖房を構造は鐵骨鐵筋コンクリート

來る十二

二六七 通讯九 田穴

次第早速御伺ひ致し

出來上ります

●修理は三日間位にて

並排職品一大

長唄稽古本

三味線張替

新星票 魚 魚

機器し二千人餘りの参觀者 大規模のもので總工費三十萬 順實に名實共に日本一の大武 徳殿となる

金銀市况開

番付 上報標金 11K1へ 22 E30

级入寄付 □

各地特產

市況

(四月六日後編) (四月六日後編) (1年度) 一事 1年二 一事

元 高豆 入入入入 豆 汽型型型 [1] 6 岩油 | 金杏藍目 粕 以 元 元 元 七 七 一 八 氏 七 七 1 | 公文人人

編大学

場

新京區公示第一號 者小智定日時場所ニ於テ種痘 者小智定日時場所ニ於テ種痘 及検症ヲ等行ス保護者及機務

鏡な 情には是非正確なる眼鏡 特に捌進級、御入事の準 店 5 清 眼 堂

7

院院科

御

指

定

町野吉京新 店支 七五四一三世 梅鎮道 道大

旣製洋服 赤水洋行

(3) 五: 二: O†

新京名物 滋養美味

室町二丁目公學校前(類取ビル裏側) ぶたまんぢゆう





新京日本橋纽り



居会を記念工具



下サランコトヲオ願致シマス クヂニ制限有リ マス故オ早ク御近所誘合 至五月三十一日 四月 一日 セノ

上御來觀

龍二田道 六 九九清遙 七九

デナシ 金裁・生花・花器御買上每壹圓ニ對シ壹本宛進呈空ク ゥ 也 週 ン 年記念 付大賣出

₩ (3) -12 1 0 P

開

粛

チ

2

話安 六四 七七行

まして目下新荷到着中ですから何卒御利用下さる樣御願今般皆樣の御奬に依り金物類を取揃へ販賣致す事になりじます就では從來瀨戶物專門に販賣致して居りましたが本店開業以來皆樣より格別の御愛顧を賜り誠に有難ら存

業務擴 張御挨拶

本騎兵第○團第○連長以下は 三月二日午後三時章子 を 出發し五時頃上夾河(與京 西南方六十三粁)に到着、 で人質四名を奪還した

間半の後頭首双彪が戦死し間場の後頭首双彪が戦死し

嗣舎の新樂移轉は他年の際案【大速支社器】旅観電報電話

匪賊一匹も逃さじ

果敢な剿匪戦争

満洲國軍の武勳輝く!

本脇兵第○國の第○連は三月 六日午後五時章子 (興京 西南五十八粁)を出設し、 西南五十八粁)を出設し、 西南五十粁の南方山地に於て肥 首九勝軍、金龍、紅槍會匪 の約五十名と交職し、敵四 名を殺し、人質二名を奪回 名を殺し、人質二名を奪回

設し、午前九時牛頃八寶欄十三日午前二時駐屯地を出 長は二ヶ營を指揮して三月 て混成第〇旅の歩兵第〇團

△第一軍管區教導監第○連は一二を直接した

局舍の

吉林操觚會

九日發會式

たる吉林操 會にては來る九 間難誌關係者に於て發起され

なが、本事業ほど本質的に困ったが、本事業ほど本質的に困ったが、本事業ほど本質的に困ったが、本事業ほど本質的に困ったが、本事業ほど本質的に困ったが、本事業ほど本質的に困ったが、本事業はど本質的に困ったが、

警察験即ち森林 離である。 總督 がけに手

を各道に配して

五六名を斃して四散潰走さ

△王鳳閣の率ふる約三百の便 風は通 化縣第 三區七 道灣 通化東南方四十軒裡八寶側

本伊藤小尉指揮の輝南縣治安 は騎兵第○國の第○連と 協力し三月廿日朝九時小東 協海(輝南東南四十粁)に 於て腰首東来の率ゐる約八十名の山寨を發見し、これ と安職敵四名を殺し、これ

月三日旅順港閉塞記念祭を撃

民精神作與に資する爲來る五

八雲、磐手

朝鮮の綠化事業

質績依然揚らず

貧しい一般民衆の愛林

思想

新築移轉

(E)

△ 科兵第○ 國は密偵の報告により解安縣第七国横絡(掛まり解安縣第七国横絡(掛ま)、大般子灣駐屯の第○ 地長は都下を指揮して討伐 地し、大般子灣駐屯の第○ に向つた、同連は三月四日 に向った、同連は三月四日

た我軍には職死兵一名、負 の士一、兵三名があつた の事奏百三十六等を画獲し た我軍には職死兵一名、負 傷の士一、兵三名があつた 時快當帽子(派化西方十五 時快當帽子(派化西方十五 時快當帽子(派化西方十五

件となってを は翻波放免ーで 過数一千件 4

模数四名を総し多数を傷けと遭遇し、三時間の戦闘の

主事の扱った。

及び文武師の合流館約二百附近に於て紅軍李韓雨浦長

保子溝(通化西南約二十粁)子を出競し午前十時半頃馬

教と繰返したが、腫九名を 職を繰返したが、腫九名を 利用して抵抗し六時間の数 利用して抵抗し六時間の数

○圏の第○連は本渓湖第四○圏の第○連は本渓湖第四

した、腰の職死は順首双彪及びその妻等五名、負傷者を立動の見込歯獲は拳統二名部隊は腰溝(な江東北二十二粁)に於て三月五日萬甲距と交戦中急援隊を併せて同距を改め八名を斃して電影したが、我軍には兵一名の負傷者があつた。

のタ

練習艦隊の 音樂さ

來る五月三日期し

敦化土建界

活況を呈す!

の開塞記念祭!

諸行事盛大に擧行

映畵

はなる事が判別したので大連 たので満人地主との間に商租 たので満人地主との間に商租 たので満人地主との間に商租 たので満人地主との間に商租 たので満人地主との間に商租 たので満人地主との間に商租 たので満人地主との間に商租 たので満人地主との間に商租 たので満人地主との間に商租 をなつた、これ等鮮農の多く によつては更に三百戸約一千 名を同叫域に移住せしむる事 によっては更に三百戸約一千 名を同叫域に移住せしむる事 によっては更に三百戸的一千 名を同叫域に移住せしむる事 となった。 盛んであるが、該地域は水利 (奉山線青堆子驛東方) 附近 (本山線青堆子驛東方) 附近

大連々鎖商店街の

大連支社強」日本赤十字社 場の設備のない漫隔の地域に あつて病魔に苦しむ人々の爲 がに從來奥地警察官派出所、 多大なるに加へて、これが増 の設を希認する向が多いので今 は意を希認する向が多いので今 のは意義品等の填充を急いで

事業充實 事業充實

組織的結束方針

業態別團体組織横の連絡確立

小學校授業料の 徴集規程作成

日夕傾南飯店に於て設會式を 大かと同時に日満各方面の要 人を招待して映書會を健すこ といなつたが現在の操 會員 は左記の諸氏である

期絶徴を施し來 慰切なる説明を 施行心得によ

愈よ民會より分離獨立す に罹らざる者は月二 らざる者は月二 とにして満二ヶ 大龍以上の者は月一 上にして満二ヶ

機

電氣冷藏庫

內容刷新充實

る、但し檢繳回 終な手心が加へ

1.00

1,038

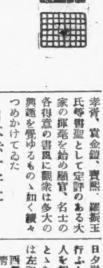
Teniga.

し者は又は免給

を作成本月の新學年度より 一を作成本月の新學年度より 一位金七十銭二名以上を有する保護者に對して は金七十銭二名以表書に對して は金七十銭二名以上を有す る保護者に對して以上を有す より三十五銭短とにが、以限する より三十五銭短とに決定したが、 大法は公費と同様民舎に於 方法は公費と同様民舎に於

棚民刑 辯護士 般法律事務 新京朝日通八十三地番號三一三八八三 曾

薬えは 創製 え



日本赤十

機關增設與地醫療 字社

北鎭縣の水

田開墾に

鮮農の團体移住

今春農期より第一次着手!

満人側でも大歡迎

西野排正(福岡日々)時政門野排正(福岡日々)時政府(松 江新聞) 宮永 軍治 (大同報) 金井塚茂 (大吉林) 竹中作平(鸂蘂事報) 川下誠一、吉林日報) 兒玉 (新京日日) 敦化義勇消防組の

本森林伐道測量 (教化支局強) 先般創立着々として事業の擴張光質を計量 しつゝある減洲林業公司の森 林鏡道建設のため薄鏡測敏騰 一行は二日着敦早々準備中で あるが京岡線大石頭より沙河

新京東二條通七八

械工具 館原田組

陸軍藥局方收載

「胡麻」は炒り方一つで非常に味の異る物でありまならしめたいものであります。 さて茶匙一杯の胡麻を手に握り指先にているのまであります。 さて茶匙一杯の胡麻を手に握り指先にてであります。 さて茶匙一杯の胡麻を手に握り指先にているにいるのであります。 用器は安價なフライ織をそれにピッタリ合ふ木の盆とを用意します。 又胡麻とそれにピッタリ合ふ木の盆とを用意します。 又却麻とそれにピッタリ合ふ木の盆とを用意します。 又却麻とそれにピッタリ合ふ木の盆とを用意します。 又却麻とそれにピッタリ合ふ木の盆とを用意します。 又却麻か惟か一个であります。 にあけます。これを幾度も幾度もくり返すす)四、五秒間にて予て用意した置いた けっぱい はないます。 これを幾度も幾度もくり返すまかなく、また炒子がなく摺るにも易く。 極めて上等をかなく、また炒子がなく摺るにも易く。 極めて上等をかなく、また炒子がなく摺るにも易く。 極めて上等をかなく、また炒子がなく摺るにも易く。 極めて上等をかなく、また炒子がなく摺るにも易く。 極めて上等をかなく、またります。

4.00

一〇〇〇〇 四五四三二〇九〇五五

一〇四

(楽天)

白建國□

一様に總ての種類の

そして手軽に出來る ・多 肌がボカ (暖かになつて急 に美しく見え出すのではあり に美しく見え出すのではあり

れるのでは

春と秋は一年を通じて女性の は寒さの爲めに皮膚が硬くな り夏は暑さの爲に肌か弛み切 だん/、暖かになつて参りま すと、女性の顔は、誰が見て

東京から

一葉の

新京百貨店二階 新京百貨店二階 新京百貨店二階

田豊所ハルビン一面梅新 京入船町二 丁 目九

タイピスト

電話專門 公益此

の浪花節

東京より

春日亭清吉さん

の讀切り

でないのが明瞭に解つたのは、
でないのが明瞭に解つたのは、
でないのが明瞭に解ったのは、
が傍で喧しい物音がすると泣が傍で喧しい物音がすると泣いであらうと云ひ得るのです。
を表せんが、生後一週間以内であらうと云ひ得るのです。
を表して見逃せない事質は
伊にとつて見逃せない事質は
の時にとって見逃せない事質は
の時にない。
の時にとっている。
の時にないる。
の情にないる。
の情にないる。
の情にないる。
の情にないる。
の情にないる。
の情にないる。
の情にないる。
の

糖の洗顔法

見違

へる程美しくなる

公園清水堂より 栗島すみ子さん等が

たづれるわが子であった。 たづれるわが子であった。 なるた。その稚見こそは女が なるた。その稚見こそは女が

乗呼(3)三一六三 一般町二丁目五ノ四銀パレス前 一般町 神谷 孝惠

速時立替

實間部 御教授 2

恩給と金

裁縫教授

電話(3)三一一書

電話三-11<11

八、八、四叠中

は

仲贵

の魅力

曜

(日

を は 大田 に 見出されるものは、實に母 に 見出されるものは、實に母 親の雕であることです。 或る 親の雕であることです。 或る と 母者が、赤ん坊の頭の頂きに と 母親に子供の名な囁かせ ち、母親に子供の名な囁かせ ますと無秩序な脈縛が直ちに

ても

3

魅)(力)

0

主婦の

な

合所メ

E

HM

京 放送局)

があつた。花の吹雪を網をもってすくはうととするやうないたもいたましい姿であつた…にもいたましい姿であつた…これはさる物語の中の女であったのためにさらはれたのであった。女はその跡を追ひ後方此のためにさらはれたのであった。女はその跡を追ひ後方此のためにさらはれたのであった。女はその跡を追び後方此にあるうち、思ひは日夜みだれに

木戸侯の家臣辻文太夫の伜文 大郎は岩氣の過ちから勘富さ 文 大郎は岩氣の過ちから勘富さ 文 大郎は岩氣の過ちから勘富さ 文 大郎は岩氣の過ちから勘富さ 文 大郎は岩氣の過ちから勘富さ 文 大郎は岩氣の過ちが急死したので、從 兄弟の藤太郎と若い者同志の しさから家傳の妙難があるが 一両持つてくればといひ、ふ と眼にとまつたみとずを水で でる魚屋の女房に一兩の工面 をたづねると、夫の病を直し でる魚屋の女房に一兩の工面 かで しかし遺を述

すお化粧した

何時頃から聞える? 育見にこつて必要な知識し

時頃から働き始めるかに就い観取るやらになる事だと思ひ倒の笑顔を微笑んで受容れ、』一つの肉塊である赤ん坊が、『 胎教も大切です

領勝するのが分りましたが他 大の配や物音では効果がこれ でるます、即ち、赤ん切の最 がに辛うじてつかみ得る酸は 自分の母の腔であり、それが を優別の薄明の中で容易に構 へらるのです、この事實は母 たる人の誇りと喜びの種にし たる人の誇りと喜びの種にし たる人のきりと喜びの種にし 質に對して示す反應の性質は あっであるのです。最初のらちはどんなに快い管でも子供はこれを迎へようとはせずに こを避けようとするのです。

て來ますから音樂或は材料にて來ますから音樂或は材料に す。斯うしたものに少しでも がらくくの玩具も鑢て無效で がらくくの玩具も鑢て無效で いい時期で

七三〇新

内 (東京)

10.00

北端の時間(吟爾濱)

郭 聖 州九名

起舊

(本天)

め

を行つたらしと考へるかも知れませんが、生後一週間も出ないうちから美しい音樂を懸めせたらいい鑑賞家になるでかせたらいい鑑賞家になるであらうとの豫期は全く見當違いで、残念な事には赤ん場の

す。胎見にたとひ聽く力があると云はねばなりませんであると云はねばなりません

(洗)(類) ます。黒砂糖を用ひるのは中にふくまれてゐるアクが肌の質めによいのでしたがつて黒砂糖もなるべく精製し切れないものの方が効果があります、しばらく此の方法で洗剤を観けてごらんなさい、肌は軟かく、そしんなさい、肌は軟かく、そし ×XXX

ater 7º

岩古さるま

二胡军

孫岳

依る

楊世祖

(滿落語) 富奎

八・四五

七・五五 漁 花 節 (東京) 七・五五 漁 花 節 (東京) 立身出世二葉の松 春日亭清吉 春日亭清吉

部中和温利北南 知りもる者だっかな

町キヤピタル内 明 ロッシ、マンドリン、ギター初 製書親切教授申込所新京三笠製・オター初 パイオオ

大会 全電話三二二七番 古林市埠地大馬路 まん 米 食 堂 気 電



下石屋向贷家アリ

骨視機



(雪責の段) 同同海珊珊 妻 新 喜 太 夫 翁

洋行

古野一丁日本の日本日本

三方根本

た、そこで藤太郎は長崎に針たさに髪を切つて襲つたと舞ったと舞ったと舞ったと舞ったと舞りが

し都赴れ語

ラン**内**京から

電話商会、最(3)六七〇〇 喪物アリ

大 て御殿野に取立られた、一方 文文郎は備中飯山の羽賀一心 変について鯉道を懸び、奥楼で狼籍者に取画まれた駕籠をで狼籍者に取画まれた駕籠をであつた。 であつた。 料告費 ◆◆◆◆ 十五被三 行一一回 回一回 看(3)★三二〇·三人〇三 編洲商事株式會社

五六八四番

高東 り (3) 一九五〇 部東ヤヨヒ寫眞位 が、格安護ル交通

カネタパン店 (第一番)

御用命は……… 中央通九

● さいべりや九(月三回) ● 活 別 九(月三回) ● 海 別 九(月三回) 「発資直飲 「海」丸(月三回)



三省堂製本所 帳簿專明 電話3三三三四番

驗訪 **介配御宅住舗店・理管産動不**

公債債券

公認工地家屋 前會教光金。四五通路一東京新 社 成 萬 金高價買及清價 金町田七日付

家屋

電話

土地

市野町一丁目(有防験裏通) 市野町一丁目(有防験裏通) 京発光張浸拔色築 (3)五七九三番

大安曹 皆





融金產動不

金

記

●專屬荷扱所 國際各地運輸會社支店 大阪商船株式會社 大連支店 電二—二11 本天事務所 電 8/2 第5年務所 電 8/2 第5年務所 電 8/2 1120

一門司、神戸(大阪)行門司、神戸(大阪)行門司、神戸(大阪)行門司、神戸(大阪)行成な丸 20月十二日はるびん丸 20月十二日 20月1月1日 20月1日 20

アサヒ新聞 アサヒ新聞

百貨はアサヒ

屋知委

七7月2回位之



するものです。お飯の為によい洗顔の仕方と、家庭で出來 る洗顔料として黒砂糖を使用 しますとお肌が非常に綺麗に なります。 ぜしラすいか常また 當證?何如證 此窓辺について





温報・番組兼告

やくとひな蘇サはは降をつり浦しりなとくてり落もコこりなりもされに行のひを窓な涙の底いのにくのらて裸心主もらざんあごでの間にのののはにの死いぬもし標でちるく浦屋とで満下め胸りろばを里くをん取り行幸ちありたった。なりもされに行のひを窓な泥のにくのらて裸心主もらざんあごではしばらかをのやちみり行幸らした。なりもされに行のひを窓な泥のにくのらて裸心主もらざんあごではしばらかをのやちみり行幸らした。なりままにたちかのかのかのから、過過とからではしばらかなのやちみのとして、とのこのでない。とのこのでは、大きないでは、大きないのでは、大きないがでは、大きないのでは、大きないがでは、大きないがでは、大きないがでは、大きないでは、大きないがでは、大きないがでは、大きないがでは、大きないがでは、大きないがでは、大きないがでは、大きないでは、大きないがでは、大きないいでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないいでは、大きないでは、大きないでは、大きないいでは、大きないいでは、大きないでは、大きないいでは、大きないいでは、大きないでは、大きないいでは、大きないいでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないいでは、大きないでは、大きないいでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大

電話ご金融 カメラ 交換歌迎中 新京東二條通り開信ビル角 東四條通10 23 二七九八中島屋 ボ本電話店 水本電話店

高 御下宿 第一下宿 級 御下 富士 町二 小 男 四十 頭 五十 頭 六十 頭 用 の お 方 は 一 、 得 所 富 土 一 、 一 、 明 夕 二 食 一 、 明 夕 二 食 四 九 三 七 へ

便賃 新名其種多額度 ○質質は老舗 ある當社〈!! 京土地建物會社 電3四八二八

男女問をはず ・ 東三馬路無線電蚤下 東三馬路無線電蚤下 3大HHO福海商事 金金 新京一の底の無

電(3)六九〇八番 四二六五番 融・

本會へ

宋松接骨院 宋松接骨院 電話3五人二九番 ●請負及貨団● 大和自動車端

サック ・ MR化用フナ トラック 性の百貨店

三人

場に召す ル三階

灸链

あ

ま

| 第三回の二| 第三回の二| 第三回の二| 第三回の二| 第三回の二| 第三回の二| 第三回の二| 第三回の二| 第一次の文學を輕してくれて、以前の事件を聽じてくれて、以前の事件を翻译の文學を輕く響き改め、 されに色までつけて、引き被き部に出たことにしたのであつた。で程なく、彼は江本のである。何でも、取入は本のである。何でも、取入は本のである。何でも、取入は本のである。何でも、取入は本のである。何でも、取入は本のである。何でも、取入は本のである。何でも、取入は本のである。何でも、取入は本のである。何でも、取入は本のである。何でも、取入は本のである。何でも、取入は本のである。何でも、取入は本のである。

(二人出て行く)」 ーさよなら ーさよなら ーお休み ーお休み たちも影なしーヴイオリン

ン女

お休み

をいくらでも吐ける であらう。 調かのある批評であらう。 間であらう。 間であらう。 同情心にあふれた批評であらう。 同情心にあふれた批評であらう。 同であらう。 油い所を見逃し、 いけないところを沈默して、

臭に簪が立つ

ー何をぼんやりやり立つてる の。話があるのよ、一寸、 此方へいらつしやい

て來る)本郷さん

一花ちゃ

鲃

れ、だけど妾そんな氣持ち をないのよ。妾小さい時か ら女の姉妹がなかつた故か のだか貴女が妹みたいな氣

0 方法論

るといふ文句を展々耳にする く、目的に近づく道である。 これは昔からのことで近頃始 手段である。私は端的に次の これは昔からのことで近頃始 手段である。私は端的に次の 立たせられるとしたら私は何 いつそ襲撃機で行け。又は、 と言つたらよいのであららか 調刺詩でゆけ。今のやらなも にそんなら、一體、批評の對 ろんの作品に對してならば 瞬 象となるやらな作品があるの である。

つて、逃避してくだらんことしていい。これのと言いいのである。客は野武士的心構へである。客 走り

今から見えてるか、

るのがモダンなやりてるのだ! 君たちは、作品のかね! それとものがおたち

ある對話

11

ラヂオ・コメディ

「春は來

れど

山補

禮遺

調ねたら、どうだらう

うるか、いやなこれらはど

あたい

日本のジャーナリストにも教へてやらずにあられいやうなものを書いて見せてくれ、とものを書いて見せてくれ、と伸びる芽を枯らそうなどといぶケチな製持はない。批評をめくり、原稿を讀んでゐる。錯山屋が饋をめくり、原稿を讀んでゐる。 とかり的なおさまり方である『協和』や『月刊議州』への寄稿家は編輯者の身息や當選事を偵察してゐる。 批評家代表は言はざるを得ないであらう。だまつてはゐれないやうな作品を書いてくれ。出版屋に置り付けてもみんなに紹介せずには居られないないに紹介せずには居られない。 批評家を登しく特たせないちの作家の名を探してゐる。

こ舌としたいと言つたら…の人があなたと二人つ切りの人があなたと二人つ切り

からう。(四、二) だって、どんな話があるし …會ひに行くだけの勇気あ

さらか? 明日のね、午前たちが、どんな話をするで 十一時に大同公園で會ひ んな話つて 一 (急に胸迫つてン 花ちやん女つてね、一度青い鳥を捕べそこなつたら、それつ切りよ。神田さんと花ちやんはいつまでも仲よくするのよれ。姿、まだ誰にも言つてないけど内地のお母さんのところに坊やを一人おいてあるの。姿がよくない男に騙されたばつかりに、母に騙されたばつかりに、母に騙されたばつかりに、母によるにも心配をかけたわ。 と(泣く)……製が出て仕と、一次のな楽しいことがあつてどんな楽しいことがあつてどのないあつている。

あり、能つて治療法も異常な進步でから、続に歴見された事が多くでから、続に歴見された事が多く

一でも姿、何だか恥かしいわ 一何を言つてるのよ、駄目よ あんたは…そんなことをし てたら腎い鳥は永久に逃げ てたら腎い鳥は永久に逃げ てしまふのよ。本郷さんも 大丈夫よ ・・元氣を ーいいの、いいの(家しく) しらね妄…ごめんなさいあ しらね妄…ごめんなさいあ なた方の樂しい門出に、こ んなことを喋舌つたりして んなことを喋舌つたりして

6

毒

あした寝すごしちや、花ちゃん、眠みま

鳥子さん、いやなひと

神田さんて、

若

心

(十七)

鹽

谷 壽

石

かその夜の泪よけ南大連 お屋が聞へる、 おぼへた露西亜の 物達 標が実験されてなります。また胃酸の少な過ぎる場合に経れが現はれちりよう。 では、 一つまり、 畑が荒れて不毛となり、 大を作る事が出来なくなつた時、

せ死山のは支那の國

「無受

金 また。 東に関下戦は、経来性も多い病。 東に関下戦は、経来性も多い病。 東に関下戦は、経来性も多い病。 を記版を避けのです。 が、と発験で被 が、と発験で被

観典史は再

「関係わかもと」も概つてるましたが解析でのあるにつれて、即のを発展で「解析わかもと」を求め要属で「解析わかもと」を求めまる。

(S)

はどうしたものか 15

の審合の先生が離京ある時に つつけてね、何の問題だつた かは判らないが。その后、こ かに判らないが。その后、こ として四兩の銀を持たしてよはお伴の者にお別れのしるし ?」盟弟は言つた

と澤山紫越すべきものだらう 所とは少いぢやないか、もつ 所とは少いぢやないか、もつ は 典史 はそれを聞くと、

あるーの盟第一

盟弟は餌を一寸赤らめて冒

事をした 者の生き る路 は狭い、彼は又しても障害にぶつつかつたのであつた。 後の盟弟は何と言ふかと思へ こしたものさっし

「そんな事はたあいないさ。 徐といふ老人はこの藩合氏の 同郷者だそうだ、去年その藩 日氏が上京して陛下の謁見を 弱つたとき、徐老もその人を おいて御馳走したもので、わ しも陪席したよ。先生たちニ

者は四兩でいゝんだらう、あ も知れんが、わしは知らなか った。でなきや、大低同郷の か、かしは知らなか

っとに角せいては事を仕損ず る。兄貴の関題はわしの問題 が。弟分として出來るだけ努 「手紙一本にそんなに鍵が要

「まあ同郷つて言へば同郷だ が、さして交際もないぢやな らいいのかね、又響いた所で うまく行くかれ?」

特と言つたものである。人柄はよく気がつく方で、識り合いも多かつた。何處にでう首を突込むことが出来た。今と嬰兄の托を受け、その晩直ちに一軒隣りの徐老人の所に出が『五十兩をお説ひにあげるといふのですよ、何とか然るべく一通書いて下さいよ。」といふのである。そして言つた文句が『五十兩をお説ひにあげるといふのですよ、何とか然るべく一通書いて下さいよ。」と言ふのであつた。

胃腸が丈夫になり

と便通が熱ひ柄類の 吉 せん。 前後の 前後の 質に れる を記れる

肉つき、體力恢復の喜ぶ

生家に献っ で書りま

の為に遊便が影響すると、それを 根城に無数に繁殖して蘇敗医療さ せ、その為めに既然して蘇敗医療さ せ、その為めに既然して蘇敗医療さ がも加液の中に流れ込んで、 カシウ

のは食師就法で、早朝空腹時に流れた。 では、野菜や果物を多食してあるとか、 平素物類を多食してあるとか、 平素物類を多食してあるとか、 では、野菜や果物を多く食べる 要防體開



寄稿家らは『暦科』の連中と やの難解な大活字のパソフレ ットを投げ出す。奉天新聞の

ん、姿悲く

である。『韻』は寒獣、ただである。『作文』の連中は『作文』の連中は『作文』を借しむの際にいい、景特になった。 である。

つてことは、却々出來ないいと思ふわ、ぢつと自分だいと思ふわ、ぢつと自分だいと自分だけで人を愛しつよけて行く

療法も進步

ぜん)妾、大便なこ

ー本郷さんがゐるつて言ふんでせら……そらねえ!ね花 ちやん、これは……こゝだ けの話なんだけど妾は駄目 なのよ

管製の漁場につれて、近來間の 一部を明歌つて製の機宜、 手物を開いて曾を直接機宜したり、 一個で開いて曾を直接機宜したり、 一個で開いて曾を直接機宜したり、 一個で機宜、 一個で機宜。 一個で機宜。 一個で機宜。 一個で機宜。 一個で機宜。 一個で機宜。 一個で機宜。 で下載してる怪ら、は ない事が分った際でするものも、その能状を設めて、警選に関下罪とまで、警選に関下罪とませると、 ニーの新り 胃酸過多症と胃下垂、 りしい病理と治療法

胃アト つて、総狀を増感してゐる東からいとすれば、自らそれに賦する関がなければなら血道埋です。 からいふ意味から近來、曹健誠の組織經濟に活力を與って推廣されるのは 若素(わかもと)ですが、文には 音感を進め消化をよくし或は、曹 度版を進め消化をよくし或は、曹 度話させる解素やビタミン等の を復活させる解素やビタミン等の

造一

電話23一八二

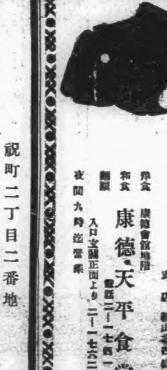
新生物機構の若葉(わかもと)には 素が用ひて、その候復を早める 実養薬や、之を利用するに必要な健康 実養薬や、之を利用するに必要な健康 、適當に含まれてあるので結核や胃臓 が、動質に含まれてあるので結核や胃臓 であります。

際リ治の氣病 国を以て学とすべしとは古人 明を似て学とすべしとは古人 の割ですが、酸物の強も同 の割ですが、酸物の強も同 で、胸髪の治り離か一般社 一で、胸髪の治り離か一般社



りますのは、 野歌でするのは、 野歌でするのは、 野歌でするのは、 野歌でするのは、 でするのは、 でする。 でするのは、 でする。 できる。 でき。 できる。 でき。





綿打直しなさ

きや

綿

話(3)

六









六九三三 行

●ルフイン及コディンの適形せらるべき結正 をルフイン及コディンの適形せらるべき結正 のである。 を選挙を開発として質用さる。 の一〇を皮下注射とす。 用法 一回一〇を皮下注射とす。

CHO曹 → ○○■人 元〇

乳 毋 行幹 車 空間次國 五十帥 班件一實 35 要 排得大腿五人五三者 三輪 五十五十五 車 滿新京洲西 赤 オ オ 四 應 信

(B

曜 火)

◆◇◇◇◇◇◇◇ ▼▼ ▼▼◇ 年が耐賀滿國滿滿地滿保滿日:實皇特 度ラ 易洲有鐵洲方洲:洲滿:施帝別 日ピ * 國鐵の三十國:國經滿期の記 録す 程の道業大四の北と海洲に日本 野学 経の道業大四の北と湾洲に日本大寫録序産の意業大四の北と湾洲に日本本事真 、業現、市の治新州の側面御和・ 金大沢陽の現組情闘ッのせい間 金大沢陽の現組情闘ック 準る問 はいいます。 はいいでは、 はいでは、 はいでは の◇鐵會況と◇ 現滿路社◇省中 況洲總の關公央 ◇國局全東署行 法十 規四 重要統計圖表其他總項目百二十餘 標別國行政交通新地圖 康德二 の御安慰・・・法権撤脱 對外蒙悶

滿 洲 - F 或 通 信 社 緼 纂

て現本最あ在書近 る委は刊 院總務廳人 任滿官洲 販賣所 以上の原徳二 大巖 官吏全部に一年十二月 事處御編纂 堂 を網羅ンに一日現 店店 せり在 康徳二年 明森 定期 便判 野 一の職員録 圖三 **投料六銭** D 10 10 10 10 10 10

拿ンモルホ合綜

造 近

30セン 40セン 50セン 80セン

白粉下と **尚、男子** すと不思 下され十二名 のひげ剃後にお使ひになれ でへば使ふ程地肌から若返つて健康になります 日粉は綜合ホルモンを配合するクラブはき白粉が一 で自粉がムラなくつき永持して、化粧崩れが致し して、ホルモン含有のクラブ美身クリームを使ひま リした肌偏りに致します。

番です。

ません。

若返らせると言ふ誇るべき性 は 大 有されるに至つて美容界はその へるに至りました。 康と若 發明 來る これを皮膚から吸 IJ ホ 中の「最近製造」記憶 に驚倒いたしまし 々しい美しさを保つこと 氣のクラブ美身ク E ムをお使ひになれ 0 7 合 ホルモン 遂に 收させ ·O 地を備 È て肌 のある ば、 クラ 品 配合 新ら に l 即ち フ

から收吸され、しかも注射と同じ効果。 クラブ美身クリームをお使ひになれば真實特許の方法で皮膚 で肌を若返らせるクラフ綜合ホルモン 生理作用でしんから健康な若々しい

綜合ホルモンを含有してゐます

から

薬用クラブ美身クリー

ムは强度の

層著し

効果があります。

肌にする優れた効果を示します。

てもしなやかな肌になります。 肌によく擦り込

又夜お腹み前に、綜合木ルモン含有の若返り化粧水クラブ乳 液と併せて、 と健康な艶を與へ、色の白いキメの濃やかな肌に致します。 んでおきますと、翌朝にはと 美白料の配合によつて、アレをよく防ぎ、皮膚に潤ひ クラブ美身クリームは、綜合ホルモンと共に、皮膚学

藤酵素を配合してゐます。



*ロxxテロンベンファート」で、從來の女性ホルモンの五乃至七倍强特に薬用クラブ美身クリームの綜合ホルモンの主成分は「デュ

ドロエステロン ベンツアート」で、

¥ 1.50

この赤白の経

選へて下すった。 ・検を夕陰になびかせ ・関を夕陰になびかせ

まらなくなつかし

では、前には赤白の大きな列機、前には赤白の大きな列形です。ようこそいらは、 一般をよらさげて…余りのおいしたに、 ま迎へに 放復おなじみの青年のおざい の程をよらさげて…余りのお

が、又何處となく落ち膏いたなく寒やかな美しさを感じたなく寒やかな美しさを感じたなく寒である。別府…第一印象は何と

何と云ふ澄みきつた奇麗なお 過であらう、私は暫く立つて 見てゐた。嬉しさの餘り腰を がよ門めて手で湯を掬つて見

Q.

新京高等女學校

旅行團通信會圖

をいさんの前に腕をまくつて お進みになつた。その御標をしたものです。では こりはしまいから」 といさんの前に腕をまくつて お進みになつた。その御標子 のおかしいこと又どつと笑ひ こけた。二時間余の疲勞は車 窓よりの自然美と聞白い青年 からずい様とのお話によつて こぎらされ別府に到着した。

(可認物便郵種三第) 富錦路の 錦ヶ丘高女 都塵を離れた聖園 角に立

務量とし、一、二年合計二百して校長室および職員室兼事 五十名の生徒を

新 の遠望が一牌のうちに眺めらには順天公園、更に南嶺一帶には順天公園、更に南嶺一帶に建ち、背後には原子公園、更に南嶺一帶) 新篠原舎に引移る事になつ 蛟成を見る(工費四十五萬圓 月にはとりあへず約五分三の

有餘、 歴教も約百萬圓の近代 他帶の中に新進の蔵刺たる氣 世帶の中に新進の蔵刺たる氣

凱旋五將軍に

。いささかの波疹だたさ 学、元氣颯爽として入京 がビーチームは、六日朝 のいささかの波疹だたさ

を見ても分ろ如く、先づ前衛 第一戦に、後衛の糸井君を組 並べ、文に、久永、杉野の兩 立とで固め、之に配するに が、といで置め、大に配するに である。出井の兩君を以てした である。と文の選手を前衛に

白

附銀花板一個づつ夫々御下賜あらせられた 「東京國通」.畏き繰りでは六日参內任務を蹇上した 南前國東軍司令官に對し御尉勞の根召しにより御紋 関東軍司令官に對し御尉勞の根召しにより御紋

新京中學生徒



男見の節句近づく……

國都の春空に泳ぐ鯉

幟

マップを完全に克服した、速 マップを完全に克服した、速 をおいて、前衛、後衛の連絡 発に、ニュージランド軍を苦 既せしめた張、小川の兩君を で行、山本として十二分の活 羅をなさしめてゐるのである の猛練習は、凡ゆるハンデキ の猛練習は、凡ゆるハンデキ

ップを完全に克服した、

泥棒出前御用

盗雑国が大の六件

五月二日の宣記念日を

建國体操日

一月來の猛練習を完全にそ

軍の期待に添ひ得る丈の實力ばかりである、おそらく遠征

催し全國的に擧行すること やる建國體操會の實施 國的に行事擧行

三、建國権操に制する各種バ

なア」と言へ

ば臓般な西度

二、建國體操に関する講演會

別式を執行される豫定

校長室に美し く咲く鉢植の

霧智會の開催

かな三十日の朝で いかと追ふ様に雨 気味な響に意識 澄みきつた色が何とも云へ ンフレット宣傳ピラの配布 あるからとのこと。 出る、海のように青

様な簡愛論、結婚論を説く「 なれは珍しく打ちとけた大の なア」とうれしそう、そして

場欄川校長大きく て月並みではあるが

清麗さであつた。かくて別府 の五大奇観を見つくして私達 は又、スに乗つて宿へ。六時 は又、スに乗つて宿へ。六時 うとしてるた、うす桃色にか 急いだ。周はもう西山に傾か んだ野山が大第にうす祭に 様に見送られつゝ預邊に く、山の頂がかつ

印象をあたへてくれた別 女房を譲つたが練愛の気料は いかな初懸もないそして今の があるないでして今の

があるんだ」

中へのさわぎである。「もう」の物がとび出す、終ひらつかりの物がとび出す、終ひらつかりにり

石に都定に山を眺めながら、川府灣に沿つて矢の如ぐ走、回動車、山かけた、自動車

阻默を見た、武赤 に湯が渡つてゐた 朱色に染

やかな美しい事からよ

した。省はお祭を想はす様なしさ、さすがは湯の街だけあって一面霧の様な温気に包まれ潤んである。しかしその活がある。しかしその活があるのは、静かに横はる別府 が一つ二つ数の間に漂つてるをれるさまなみ、沖には漁火をれるさまなみ、沖には漁火

おおい様の異

親工、別府築、湯の花、等々 ちこちらと灯の中を泳ぎ廻つ た。お店はたいてい名物の竹

かかは朝の汚れに再び活動 と沈默の底にあった、街も

皆々のさいめきの扉をよそ は何かしらもつたいなさをか

で我先にと乗りこんだ。

てかな乳色 を帶び た赤裸々な別府の ルト色の空の下

見た、

天才は一個狂人で

陽はもう西山に没した。 何と神々しいシーンでせり、

は言つた「夫は妻を忘れ、武者小路さ

かない、武者小路さ

なら以戦艦な生活なんだ、

就きましては右御禮の意味を込めま

して四月五日より二十日迄春セルに

た事を厚く御禮申上ます

限り仕立無料奉仕申上げます

は観集の都よ

であった新京中県四年生一行人十四名は上原。三輪、村山三教諭に引率され無事観磐旅行を終り京る十日午后二時歸

綜合体育會 委員會々議附屬地側期成

月終了

者新京體育聯盟各幹部社會係 中後三時から満織地方事務所 年長室に於て開催した、出席 年長室に於て開催した、出席 日本

千百、加酶金保、

一つ今日までの經過を報告し附 一局地側期成委員會としての實 五日大連に於て創設された議 五日大連に於て創設された議 一般の理論を表現する前に去月十 での經過を報告し附 武田胤維、理事地方側大原萬 かを一同に諮つた結果支部長部のメンバーを何人に極める

高級側鯉阳

にて劈頭高山主事より前社會 合権育館設立極意書を朗讃且主事野村茂理氏が遺された綜 進め過段ヤ おること お合六氏 青鵬盟代表者會合の席上れた新京體育聯盟に満洲 たる附屬地側 事高山八十 承認を

四百名の有力匪と衝突して

を出し全被的損害を襲つたが 軍協力して目下該匪を追撃中 並に満軍は直ちに出動日 は直ちに出動日浦南

無敵ラグ

ビー

軍迎

南坟附近一部落

自轉泥逮捕さる

滿洲國軍陣容成

で練写の早大遠征軍) も、張きつてゐるもう自信 【奉天図通】六日午前一時十 分頃安奉以南次縣北方一部落 に頭首不明の頭約三十夏撃、 に頭首不明の頭約三十夏撃、 匪襲さる

りふ待望の鐵桶陣相搏つ日

宅前か 連山闘守備隊○名は直ちに出 動目下追擊中 分ごろ西七馬路の朝鮮飲食店として新京帰司法係で捜査中 鬪の上途ひに捕縛された、目刑事、張巡捕に設見され大格 林巷明方で飲酒中を新京署鄭 殿取取調中であるが既に自

自轉車が瀕々失せる 学前で永樂町三丁目十 で▲三笠町二丁目十 を前でへ富士町二丁目十 を前で、「日青陽ビ で、「日青陽ビ で、「日青陽ビ で、「日青陽ビ 餘罪多敗に上る模様である 愛知商優勝 中等選拔野球

非常なたた

よものが最近 かの値かの間

別人検撃につとめて が行してゐるので整

桐生中惜敗

元浪花すしの出前持ち山海闘

貨

御希望ノ方ハ

等ノ設備アリ

經路民政部

間

取 所

八叠、六叠、

內朝陽路

大連で逝去、遺骨は七日午前澤重明氏母堂ケイさんは四日

八日午後四時長春寺に於て告八時五十分歸京河夜通夜の上 田 島 フ



通化より討伐軍急追 一部隊全滅 日本 は鐵道北の自宅に隠しおきそれのまゝハルピンへ逃げ五日新のまゝハルピンへ逃げ五日新のまゝハルピンへ逃げ五日新のまゝハルピンへ逃げ五日新のまった。 日 生れ高有銘(二三)はさる二日 生れ高有銘(二三)はさる二月中ごろ約百圓を集金横領したまる三月でつち生洲の出前持ちに奪はれ中同月十七日二十去る三月でつち生洲の出前持たまゝかへらず自轉車は料理によっかへらず自轉車は料理

るところを新京署岩田刑事に京帰で列車に乗り込まんとす す一度御試食を 知らせ

迎ひに差上げま

野黙(3)五八八五番料理、一許さや、3)五八八五番 器三七七五(3)體 /五三町船入京第 社 會 式 株 融 金 和 昭

たる 新京 喫 ス 茶 0

慧星の如 < 現 界 は

愈々 45 ·日開店

五日間の開店五週年賣出しに豫想外 の好評を博し多數御來店下さいまし 新京配町三丁目鮮銀樹 電話○○一四六二番

專賣所募集

あの男の惚れてゐるのはお歌た

小探 說偵 殺

雨 水

ンピルハ

楽屋から出て行つたのです

地球印部時代为共台紙

何でも、この間の観、おそく外か

花柳病豫防藥

大仲間に賞用せらる、所以 一般家庭は勿論花柳界、粹

東京新潮製藥株式會社 一丁目二四(赤玉カフェー横入)

●關東軍司令部御用達●



(電略)(ハ)又ハ(ハナ) 振替大連三三五番を話二・三周二六番を話二・三周二六番

2

店計時堂正大

婦 人院手術隨時

興安大路四一九(韓田ビル裏)

五六番目

民刑事訴訟 類作成日 務所 新 信木 EA 中国 海山 山山

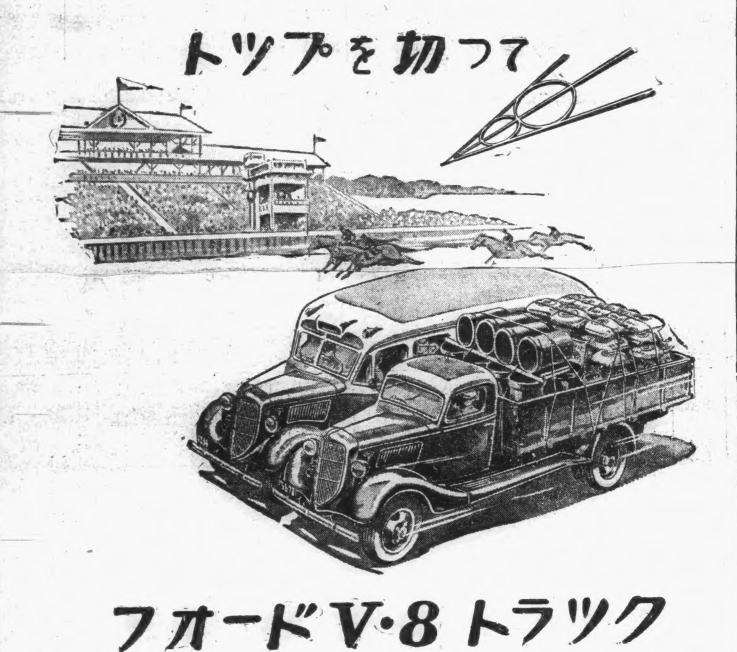
豐富着荷 店

は無稅港大連に

五四四九

TRADE

!!を程の聽試 神づ先



フオード V-8はトラック及びパス業經營者の犬会二、徒用され、斯界の先頭に立つて断然 優勢を示してゐます。フオードV-8には他車の追從を許さない次の三大要素があります

(1) 安全性

手数のかよらぬV-8エンデン。強力 で信頼の出来るブレーキ。頑丈な精 (2) 收容力

積載容積大なる質め、メス路線用と して、貨物運搬用として、迅速なる 砂着計画を遂行する事が出來ます。 柔かいスプリング。休車の心配不要

霧命のある限りを計算すれば (フオ 一ド の壽命は特別長いのでありま す) 総收入が多く、経營者に一層大 なる利益を齎らすのであります。

過去數年間に本事ではフオード∇-8のトラックとバスは他のどの車と比較しても約二倍販賣されてゐます そして其人氣は昂るばかりであります。斯様に壓倒的人氣を集めるには何か理由がなければなりません 「既に定評あり、更に改良が施してあります」

パス シヤシーが發費されました

今回ホキールベース 185时 特殊

新京八島通三二

大連市秋月町四番地